

かみす

Pick up

▶確定申告・住民税申告のお知らせ
▶茨城国体
神栖市ボランティア登録
キャンペーン

特集

成人式

まちの魅力再発見 1062人の新たな門出



1月13日、息栖神社には、晴れ着姿でお参りする数多くの新成人の姿が。この日、成人式典が神栖市文化センターで行なわれました。1062人の新たな門出を祝う成人式典と、新成人の声を紹介します。

写真：左から成人式典実行委員長長石橋克弥さん、副実行委員長長風口まどかさん、実行委員秋葉太智さん

AR

広報かみすが
動き出す



[COCOAR2]



アプリをダウンロードし
表紙にスマートフォンを
かざしてください。
詳細は16ページ

特集

成人式

2019年1月13日、神栖市成人式典が晴れやかに行なわれました。新成人による実行委員会が「平成最後の成人式」をテーマに、思い出に残り、歴史にも残るような成人式にしようと企画・運営。会場が一体感に包まれました。

誓いのことば



いつもよりちょっとすまし顔をしたら晴れ着姿の新成人。友人を見つけると笑みがこぼれ、おしゃべりの声も弾みます。刻々と華やかさを増す神栖市文化センター。どの顔も晴れやかです。神栖市で今年成人を迎えたのは1062人（1998年4月2日～1999年4月1日生まれ、市外在住者含む）で、750人の新成人が1月13日に行なわれた平成31年神栖市成人式典に出席しました。成人式は全国で行なわれる国民的行事の一つです。しかし、ニュースでは豪華な振袖姿や盛大な式典ばかりが話題を集め、本来の意味が忘れられがち。そこで改めて、成人式に込められた思いを見つめ直してみよう。

20歳で成人を祝うようになったのは意外と新しく、1949年に「成人の日」が制定され、2000年に現在の1月第2月曜日に改正されました。成人式は、「大人の仲間入り」を社会的に認め、祝う儀式です。家族や親戚、恩師など、これまで育ててくれた多くの人たちに感謝しつつ、大人としての責任を自覚する日となります。

一生に一度の大切な成人式だから



石田市長あいさつ



石橋実行委員長あいさつ



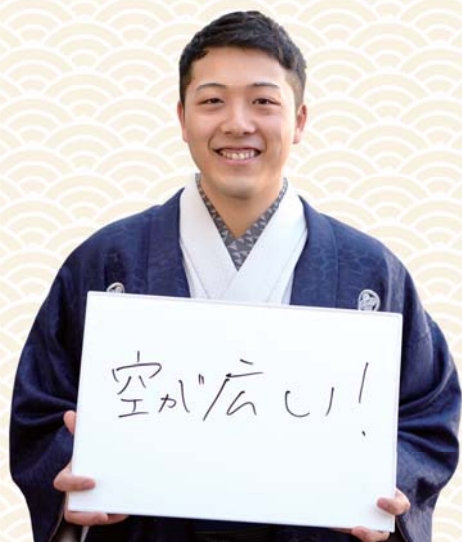
抱負発表



こそ、より積極的に関わってもらおうと、神栖市では新成人から実行委員を募集し、約4カ月かけて記念品選びからアトラクションの企画・制作までさまざまな準備を行います。そして迎えた当日。会場受付、式典の司会、誓いのことば、抱負発表、アトラクションの進行など、実行委員たちが協力し合って立派に役割を果たし、ぬくもりあふれる成人式となりました。

久しぶりに顔を合わせた友人と、成人式の思い出を共有できるのはうれしいもの。子どもの頃は同じ学校に通い、一緒に遊ぶのが当たり前だったのに、今では就職、進学、親元を離れての一人暮らしなど、さまざまな道を選んでそれぞれの人生を歩み始めています。そうした友人との再会は、単なる同窓会を超えて、自分の人生を考える機会にもなるでしょう。それが成人式という特別な一日です。

ハタチの VOICE



田邊智也さん



中村祥子さん

新成人の皆さんが考える「神栖の魅力」とは何でしょうか。式典会場で聞きました。さらに「新成人ライブアンケート」を実施。会場でアンケートボードにシールを貼って答えてもらいました。集計結果から見てきた新成人の想いとは…。

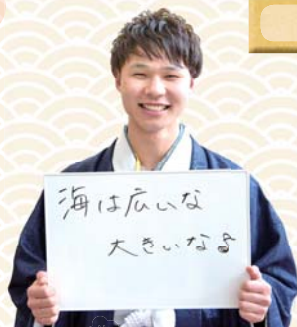
神栖の魅力は
何ですか？



中村汐里さん



鈴木康大さん



多辺田賢将さん

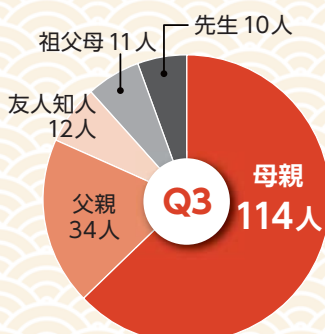


岡野葉月さん

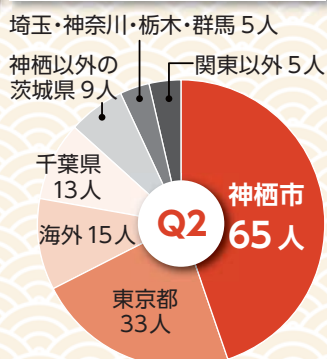


小関加奈さん

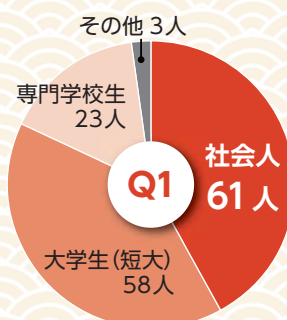
成人式を迎え感謝したい人は誰?
(複数回答可)



将来どこに住みたいですか?



現在何をしていますか?



新成人ライブアンケート

集計の結果、将来、神栖市に住みたいと答えた人が半数近くにのぼりました。(回答者145人)



クローズアップ 成人式典実行委員

今年は過去最多となる27人が実行委員となりました。動機は、「みんなの役に立ちたい」「友人に誘われて」などさまざまです。

「貴重な経験を今後の人生に生かしたい」(実行委員長・石橋克弥さん)、「みんなで楽しめる明るい雰囲気」の式典をつくりあげたい(副実行委員長・風口まどかさん)、「華やかな舞台の裏方としてみんなを支えたい」(実行委員・秋葉太智さん)と意欲的に準備を進めてきた皆さん。第2部アトラクションの企画は、各中学校の恩師が登場するメモリアルビデオの上映で、「同級生みんなに、懐かしい先生からのメッセージを見てもらいたい」(実行委員・多辺田賢将さん)と編集にも熱が入りました。

成人式当日は、27人全員が受付から閉式までそれぞれの役割に奔走。厳かな雰囲気の中にも、ときおり歓声や笑い声が広がる場面もあり、会場は終始なごやかな雰囲気に包まれました。「無事に終わってほっとしましたが、頑張った分、寂しさも感じます」と振り返る風口さん。「実行委員会の同窓会を絶対に開きます。それも実行委員長の役割ですから」と語る石橋さん。将来へつながる仲間の絆がしっかりと結ばれたようです。



実行委員会(12月)



大好評のメモリアルビデオ



閉式後の舞台裏



出番直前の舞台袖



実行委員の皆さん



岡野真由さん

宮内優奈さん

篠原海さん

尾崎棕馬さん

神栖市にあったらいいと思うもの (複数回答可)

